

2021年度（第5期）事業報告書

2020/10 – 2021/09

一般財団法人 エコロジカル・デモクラシー財団

**ECOLOGICAL
DEMOCRACY
FOUNDATION**



目次

- (1) 2021年度の事業枠組み p.3
- (2) 2021年度の実施体制 p.5
- (3) 2021年度事業計画と実績 p.6
- (4) 2021年度予算と実績 p.7
- (5) 各活動の振返り p.8

(1) 2021年度の事業枠組み

- ・次年度（2022年度）には、パンデミックを受けて特別スローガンの設定を検討

全体像・ゴールイメージ

エコデモ財団のビジョン

一人ひとりが、人間は自然の一部であることと人間だけが培ってきた信念（自由、平等、平和）を誇りに思い、自然、生態系（エコロジー）を労り畏れながら、人々の協同（デモクラシー）を尊重する世界を目指す。

エコデモ財団のミッション

働く場、暮らす場、学ぶ場での様々な日常に、自然と社会の共存する目指すべき未来のタネを発見し、育くむ。具体的には、4事業分野において、これまでに開発してきた仕組みやツールを用い、人々の価値観に語りかけ、行動を提案する。

スローガン： まちが人々の心に触れるようにする

ミッションのための戦略

<行政>

都市・地域のビジョンとそのデザインをエコデモにより深める

<企業>

企業活動(CSV)の中に新しいエコデモという価値を創造する

<市民>

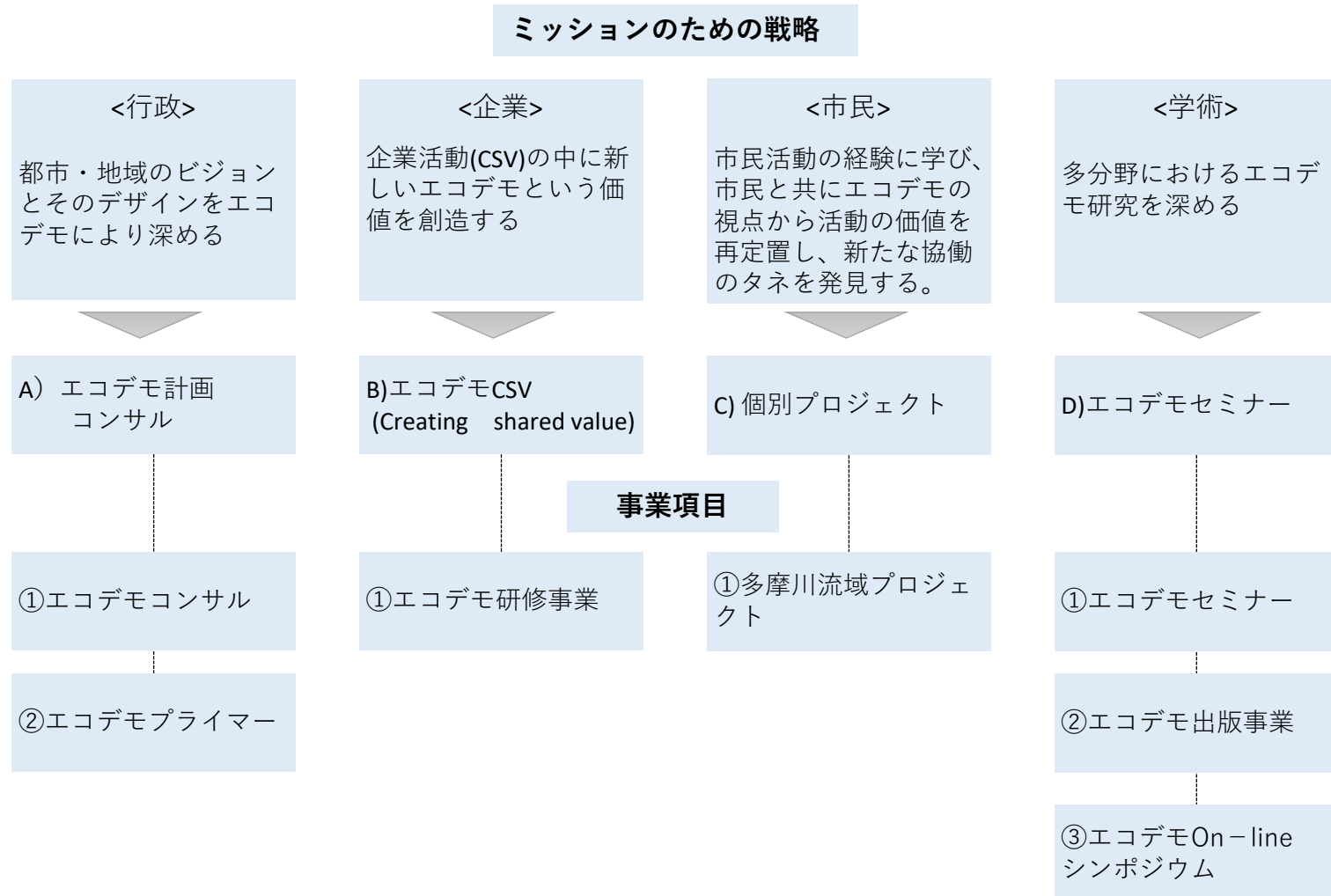
市民活動の経験に学び、市民と共にエコデモの視点から活動の価値を再定置し、新たな協働のタネを発見する。

<学術>

多分野におけるエコデモ研究を深める

(1) 2021年度の事業枠組み

- ・次年度（2022年度）は4対象（行政/企業/市民/学術）事業にそれぞれ以下の事業を追加
 - ・行政向け事業「A3エコデモCPDセミナー（島谷ワークツアー@九州）」
 - ・市民向け事業「C2ママエコデモ」「C3エコデモアワード」



(2) 2021年度の実施体制

- ・次年度（2022年度）では、4事業における追加事業に合わせて体制を見直し
→伊東理事・BエコデモCSV、土屋理事・C個別プロジェクト（ママエコデモ）

●エコデモ財団理事、◇事務局・アドバイザー（敬称略）

全体統括：●土肥真人

中・長期展開ビジョン

● □ □ □ □ ● □ □ □ □ ● □ □ □ □ ● □ □ □ □ ● □ □ □ □ ● □ □ □ □ ● □ □ □ □ ◇杉田早苗

<p><行政> A) エコデモ計画コンサル</p>	<p><企業> B) エコデモCSV (Creating shared value)</p>	<p><市民> C) 多摩川流域プロジェクト</p>	<p><学術> D) エコデモセミナー</p>
<p>●土肥真人 ◇杉田早苗 ◇中西正彦 ◇坂村 圭 ●柴田 久 ●土井良浩</p>	<p>●土肥真人 ◇吉田祐記</p>	<p>◇吉田祐記 ●土肥真人 ●清野 隆</p>	<p>●清野 隆 ●土肥真人 ◇山本真紗子 ◇米本晋也</p>

助成金申請担当：◇谷内田絢子

サポーター： ・エコデモ財団発起人232名（2021年6月23日現在）

(3) 2021年度事業計画と実績

・2021年度の4事業達成目標と活動内容およびその達成度

事業枠組	事業項目	2021年度の達成目標	活動内容	達成度
A)エコデモ計画 コンサル 【行政】	A1 エコデモ ・コンサル	・大岡山のまちでのエコデモ実践活動	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡山の聖なる構造(フレームワーク)の発見 ・フレームワークにもとづいた大岡山のまちのビジョン・ガイドラインづくり ・大岡山での実践をテーマとした助成金申請 	去年に引き続き、大岡山まちづくり協議会からの業務委託を受けて活動(
	A1 エコデモ ・プライマー	・エコデモプライマーの素案作成とそれを使ったエコデモコンサルの他地域展開	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡山の事例に基づくコンサル事業の要点抽出とプライマーの素案作成 ・上記素案を、アドバイザーやコンサルタントと検討 ・エコデモプライマーをテーマとした助成金申請 	未達 (大岡山のまちでのエコデモ実践活動に集中したが、全体に広げることには至らなかった)
B)エコデモCSV 【企業】	B1エコデモ研修事業	・企業1社とのエコデモ研修事業を実施	・前年度のエコデモ研修をベースとして企業1社のエコデモ研修事業を継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・企業1社とCSVをエコデモから検証する研修を実施 ・研修を継続し、新規事業開発とチームワークを開発する研修を行った
C)個別プロジェクト 【市民】	C1 多摩川流域プロジェクト	・多摩川の水辺の楽校グループ(全17校)の交流ネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川の水辺の楽校の活動グループ17校との交流会を実施 ・多摩川流域内の地域社会・市民グループ間の交流ネットワークづくり 	多摩川の水辺の活動グループ8団体と意見交換を行うオンラインシンポジウムを実施
D)エコデモセミナー 【学術】	D1 エコデモセミナー	・エコデモセミナーの継続(6期10-15名で実施)	・エコデモセミナー6期【2020.11-2021.04(予定)】	・第6期を実施できた(7名、2021/04-2021/09)
	D2エコデモ出版事業	・エコデモ関連書籍の出版	・日本版エコデモの出版を検討(連続シンポジウムの内容を出版)	・達成できた(2020年8月:電子書籍自費出版)
	D3 エコデモOn-lineシンポジウム	・エコデモ連続シンポジウムの実施	セミナー生、応援人をゲストスピーカーに招き、zoomで連続シンポジウムを実施(シーズン2全6回)(2021.02-05)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコデモ連続シンポジウム ・ほか講演会・原稿執筆

達成度については次の通りに表記

青：計画通り出来たこと

赤：計画したができなかったこと

緑：派生的にできたこと

(4) 2021年度予算と実績

2021年度予算

(単位:千円)

損益	事業分類	事業A: エコデモ計画コンサル						事業B: エコデモCSV ①エコデモ研修	事業C: 多摩川流域プロジェクト				事業D: エコデモセミナー				4事合計		管理費	総計		
		①コンサル業務		②プライマー作成		合計			①多摩川PJ		合計		①セミナー	②出版事業	③学術交流	合計		4事業収益		助成金申請含む	4事業収益	助成金申請含む
		事業収益	助成金(申請)	事業収益	助成金(申請)	事業収益	助成金申請含む		事業収益	助成金(採択)	助成金(申請)	助成金申請含む	事業収益	助成金(申請)	事業収益	事業収益	助成金申請含む					
収益		550	1,500	0	800	550	2,850	2,000	600	1,500	2,100	1,000	600	600	1,600	2,200	4,750	9,150	—	4,750	9,150	
支出		400	1,500	20	800	420	2,720	330	600	1,500	2,100	80	600	300	380	980	1,730	6,130	250	1,980	6,380	
収益-支出		150	0	-20	0	130	130	1,670	0	0	0	920	0	300	1,220	1,220	3,020	3,020	-250	2,770	2,770	

2021年度実績

(単位:千円)

損益	事業分類	事業A: エコデモ計画コンサル						事業B: エコデモCSV ①エコデモ研修	事業C: 多摩川流域プロジェクト				事業D: エコデモセミナー				4事合計		管理費	総計		
		①コンサル業務		②プライマー作成		合計			①多摩川PJ		合計		①セミナー	②出版事業	③学術交流	合計		※新規助成金採択なし		—	3,563	2,988
		事業収益	助成金(申請)	事業収益	助成金(申請)	事業収益のみ	事業収益		助成金(採択)	助成金(申請)	助成金(採択のみ)	事業収益	事業収益	事業収益	事業収益のみ	事業収益のみ						
収益		587	0	0	0	587	1,540	654	0	654	440	13	329	782	3,563	—	3,563					
支出		287	0	0	0	287	849	736	0	736	51	8	106	166	2,037	951	2,988					
収益-支出		301	0	0	0	301	691	-82	0	-82	389	4	223	616	1,526	-951	575					
		587	0	0	0			654	0		440		329		2,010			一般会計				
		287	0	0	0			736	0		51		106		1,180							
							1,540					13			1,553			収益事業				
							849					8			857							

備考

- ・いずれの事業においても新規の助成金採択は無く、助成金は次年度継続の①多摩川PJの助成金（東急財団）のみ。
- ・管理費は、各事業に係る人件費や諸経費を集約したため、予算計画よりも約700千円増大
- ・一般会計事業・非課税事業（Aエコデモ計画コンサル、C多摩川PJ、D1セミナー・D3学術交流）で+830千円、収益事業・課税事業（BエコデモCSV、D2出版事業）で+696千円。事業規模は、助成金の結果から予算計画よりも大幅に縮小したものの、収益事業であるBエコデモCSVに注力し、全体の収支としては+1,526千円となった。

(5) 各事業の振返り A1エコデモコンサル A2エコデモプライマー

ビジョンのための戦略

コミュニティ・都市・地域のスケールを行き来できる、まちのビジョンをつくる

今年度の実施状況

- ・ A1エコデモコンサル業務で大岡山でのアンケート調査成果を分析し、報告書としてまとめた
- ・ 上記成果をもとに、大岡山のビジョン・ガイドラインづくりを進行中

A1エコデモコンサル

2021年度の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大岡山のまちでのエコデモ実践活動 	達成度	去年に引き続き、大岡山まちづくり協議会からの業務委託を受けて活動をした（2021/04-2022/03、550千円）
達成すべき活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大岡山の聖なる構造(フレームワーク)の発見 ・ フレームワークにもとづいた大岡山のまちのビジョン・ガイドラインづくり ・ 大岡山での実践をテーマとした助成金申請 	2021年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聖なる構造を発見し、学会論文としてまとめた ・ アンケートを分析して冊子にまとめた 「大岡山・千束地区の未来のためのまちづくりアンケート報告書」(2020年6月1日) ・ 2020年度トヨタ財団国内助成申請 ・ ビジョン・ラインづくりは進行中

A2エコデモプライマー

2021年度の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコデモプライマーの素案作成とそれを使ったエコデモコンサルの他地域展開 	達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未達（大岡山のまちでのエコデモ実践活動に集中したが、全体に広げることには至らなかった）
達成すべき活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大岡山の事例に基づくコンサル事業の要点抽出とプライマーの素案作成 ・ 上記素案を、アドバイザーやコンサルタントと検討 ・ エコデモプライマーをテーマとした助成金申請 	2021年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果なし

(5) 各事業の振り返り B1エコデモ研修

ビジョンのための戦略

SDGs、ESG投資の潮流を捉えた企業活動（CSV）の価値をつくる

今年度の実施状況

・昨年度から実施している企業1社とのエコデモ研修を継続させ、新しい研修プログラムを開発し、継続実施することができた

B1エコデモ研修事業

2021年度の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・企業1社とのエコデモ研修事業を実施 	達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・企業1社とCSVをエコデモの観点から検証する研修を実施した（2020/08－2020/10、全6回、3カ月間） ・研修を継続し、新規事業開発とチームワークを開発する研修を行った（2021/08－2021/11、全12回、1回/週）
達成すべき活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度のエコデモ研修をベースとして企業1社とのエコデモ研修事業を継続実施 	2021年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期研修（エコデモの観点から検証する研修）の公判を実施。 ・第1期研修について報告書を作成した 「事業と人生のバリューチェーンを豊かにするー地球環境と社会環境を見据えた新しい働き方：エコロジカル・デモクラシーによる新しい価値創造研修の記録」（2021年3月） ・第2期（新規事業開発とチームワークを開発する研修）の前半を実施。現在、実施中

(5) 各事業の振り返り C1多摩川流域プロジェクト

ビジョンのための戦略

市民活動にあるエコデモの価値を見出し、エコデモの価値を認めてもらう

今年度の実施状況

・多摩川の水辺の活動グループとの交流ネットワークづくりに向けた、オンラインシンポジウム等のイベントを計画、実践することができた

C1多摩川流域プロジェクト

2021年度の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川の水辺の楽校グループ（全17校）の交流ネットワークづくり 	達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川の水辺の活動グループ8団体と意見交換を行うオンラインシンポジウムを実施し、交流ネットワークづくりを行った
達成すべき活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川の水辺の楽校の活動グループ17校との交流会を実施 ・多摩川流域内の地域社会・市民グループ間の交流ネットワークづくり 	2021年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・東急財団からの研究助成を受けて、多摩川の水辺の活動グループ8団体と意見交換を行うオンラインシンポジウムを実施した 「未来の河童におくる多摩川」（2021年3月20日実施） ・活動報告書および研究成果報告書を作成した 「水の循環と子どもの遊びからみる自然と社会とのつながりとその価値についてー多摩川流域の自然環境保全に向けた流域連携の可能性について」（2021/12）→ ・上記の活動を継続し、成果公表を行うための展示イベントの開催、ウェブサイトの開設を行った 「展示イベント：NPO多摩川エコミュージアム@ニヶ領せせらぎ館、2021年5月1-30日」「パネル展示：羽田水辺の楽校@大田区役所、2021年5月」 多摩川かっぱプロジェクトHP： https://ecodemotamagawa.wixsite.com/website

(5) 各事業の振り返り D1エコデモセミナー、D2出版、D3シンポ

ビジョンのための戦略

エコデモの国際的な潮流を捉え、国内における学術的位置づけを多分野との共同で行う

今年度の実施状況

- ・セミナー第6期を新たな開催方法により実施した
- ・昨年度より実施しているエコデモ連続シンポジウム成果を書籍としてまとめた
- ・各種講演のほか、建設コンサルタンツ協会認定のCPDオンラインセミナー実施

D1エコデモセミナー

2021年度の達成目標	・エコデモセミナーの継続（6期10-15名で実施）	達成度	・第6期を実施できた（7名、2021/04-2021/09）
達成すべき活動内容	エコデモセミナー6期【2020.11-2021.04】	2021年度の成果	・第6期：7名、2021/04-2021/09 ・毎回のオンラインミーティングで各章の振りかえり

D2エコデモ出版事業

2021年度の達成目標	・エコデモ関連書籍の出版	達成度	・達成できた（2020年8月：電子書籍自費出版）
達成すべき活動内容	・日本版エコデモの出版を検討（連続シンポジウムの内容を出版）	2021年度の成果	・「新しい都市の形：世界が変わるためにー日本のエコデモのための8つのフレームワーク（2020年8月）」 ・計画行政学会「エコロジカル・デモクラシーのフレームワーク：都市が人々の心に触れ、世界が変わる」2021年2月 ・早稲田まちづくりシンポジウム2021「セッション1 水と土がつなぐ生態有機都市のデザイン」2021年6月

D3エコデモシンポ

2021年度の達成目標	・エコデモ連続シンポジウムの実施	達成度	・エコデモ連続シンポジウム「パンデミックの先にある新しい都市の形を考える」2021年、第5回10/4、第6回10・24、ほか講演会・原稿執筆
達成すべき活動内容	・セミナー生、応援人をゲストスピーカーに招き、zoomで連続シンポジウムを実施（シーズン2 全6回）（2021.02-05）	2021年度の成果	・CPDオンラインセミナー「まちづくりと生態的多様性をつなぐ思考と技術」（2021年6月10日）企画実施 ・宮前区まちづくり協議会・2021農フォーラム（2021/3/13）講演 ・早稲田まちづくりシンポジウム2021・講演 ・2020 International Forum on Ecotourism and Sustainable Tourism(2020.11)講演

達成度/成果については次の通りに表記

青：計画通り出来たこと

赤：計画したができなかったこと

緑：派生的にできたこと

(参考) 各活動の振り返り：講演会・イベント、原稿・論文、助成金

講演会・イベント

エコデモ連続シンポジウム「パンデミックの先にある新しい都市の形を考える」

- ・第5回「「言葉と水」に、耳を澄ます」2020年10月4日（日）9:30~11:30 @Zoom

ゲストスピーカー：若松英輔さん（随筆家・批評家、東京工業大学）、山下三平さん（九州産業大学）

参加者：100名

- ・第6回「『日常にある未来』を探す：働き、学び、生きる新しい形」2020年10月25日（日）9:30~11:30

ゲストスピーカー：小泉秀樹さん（東京大学）、佐々木葉さん（早稲田大学）

参加者：120名

エコデモ財団 オンラインセミナー「まちづくりと自然・生態的多様性をつなぐ 思考とその技術」

（一社）建設コンサルタンツ協会・認定CPDプログラム

2021年6月10日（木）17:00-19:30 @ZOOM 基調講演：島谷幸宏（九州大学／熊本県立大学）

早稲田まちづくりシンポジウム2021「生態有機都市のまちづくりー『まちづくり庭園』の構想から地域マネジメントへ」

2021年5月15日（土）10:00-12:00 セッション1 水と土がつなぐ生態有機都市のデザイン

司会：佐々木葉（早稲田大学）、登壇者：土肥真人（エコデモ財団）・若尾明宏（NPO法人ねっとわーく福島潟）・

滝澤恭平（ランドスケープ・プランナー/株水辺総研）

宮前区まちづくり協議会「2021農フォーラム：withコロナだからこそ このまちで育む、農ある暮らし」

2021年3月13日（土）13:30~15:40 @Zoom

進行：松井隆一（宮前区まちづくり協議会）、事例発表：梅原正義寿（梅原農園）、小川耕平（小川農園）、

福田真（はぐるまの会）、清水まゆみ（かわさき・食と農のコミュニティ）

The 2020 International Forum on Ecotourism and Sustainable Tourism (2020.11)

“What a wonderful Eco-tour Guide the Black-faced Spoonbill is!”

土肥真人「エコロジカル・デモクラシーのフレームワーク：都市が人々の心に触れ、世界が変わる」, 計画行政, Vol. 44, No. 1, pp. 33-38, Feb. 2021.